

令和元年度 第2回久留米市有線放送運営委員会 会議録

日時	令和2年2月20日（木） 14時00分～15時00分
場所	田主丸保健センター 多目的室1
出席者	大熊委員長、小林副委員長、古賀委員、草野委員、刈茅委員、東委員、 秋山委員、小西委員、橋本委員 以上9名
欠席者	永松委員、中野委員
事務局	山本支所長、右田次長、吉岡補佐、國武主査、佐藤、木村
傍聴者	なし

次第	内 容 等	
1 開会	進行 事務局	1 開会 ・ 支所長あいさつ ・ 委員長あいさつ
	進行 委員長	大熊委員長による進行
2 報告事項	事務局	(1) 有線放送に関するアンケート調査について 〔説明〕 (2) 有線放送事業における課題について 〔説明〕 (3) アンケート調査結果と課題のまとめ 〔説明〕
	委員①	アンケートの結果から見ると、私の思いとはものすごくかけ離れた部分がある。前回話した時の感じと、これを今見せてもらった後では、相当かけ離れている。そして、監査と議会から指摘を受けていることも考えたら、行政だけの運営は、もう駄目なのかなと思う。何がしかの負担をしてでも残せるものなら残していきたいと思う。私は必要であると思う。この結果よりも、有線放送はまだまだ利用してもらっていると思っていた。広報誌にもかなり目を通して結果となっていたし、昭和40年開始なら、故障もするだろうし。だからといって、いきなりこれを無くすといっても、住民の理解が得られないだろう。何らかの方法で存続させるような方法はないのか。
	委員長	その件については、後の協議事項の方で協議させていただく。
3 協議事項	事務局	「有線放送事業の今後のあり方について」〔説明〕
	委員長	あり方について4つあるが、この4つに絶対しないといけないという事ではないと思う。考え方としては、この4つぐらいだろうということ。その他にもいい知恵があれば、皆さん方出していただきたいが、やはりもう時期的には、方向性を決める時期であると思うので、皆様方のご意見を伺いたい。

委員長	(特に意見なし) 私の方から一言、言わせていただく。2年間、監査委員をさせていただいたが、監査と市議会と両方から有線放送については色々なご意見をいただいた。また、市長が校区との意見交換で、「田主丸は良すぎる、良すぎる」と言われるが、それは、昔から皆さんのためにやっていたということだから良いと思う。ただ、どうしてもその維持をするためにはお金がかかるし、そのお金が本当に一部の地区だけで使われていいものかと。やはり、公平性を考えれば、田主丸だけに維持管理費だけで約1,400万近くお金がかかっているということはどうかと。もし、災害等が発生した場合、また、老朽化に伴って機材を再調達しシステムそのものを全部入れ替えなければならないとすると4～5億かかるという試算が確か出ていた。でも、4～5億をかけて有線放送を維持するのは不可能に近いと思う。どこか民間がやってくれるならともかく、今の行政の中では非常に厳しいということだと思う。まあ、4項目とも結果的には、この事業はやめないといけないという結論に達する訳だが、どういう終わり方をするのかというのが、ここに課せられた課題だと思うので、先ほど委員①が言われたように、負担をしてでも維持をするのか、田主丸地区全体で負担をするのか、必要なところだけがそのエリアだけで自分たちで維持管理していくのか、選択肢がある程度限られてくると思う。
委員①	24年度の北部九州では雨でやられた。その時の久留米市校区まちづくり連絡協議会の理事会の中では「田主丸は有線放送があるから良かったね」と言われた。「あのような雨風の時には防災無線は役に立たなかった。だから、田主丸の有線放送はとても良い」と。「今後はそういったものを増やしたら良い」という意見も理事会では出ていた。でも、議会では全然それが反映しないままになっている。 私は今度のアンケートを見てびっくりした。これは、何も言えないと。まだ必要という意見が強いと思っていた。こういうのを見せられたら、もう言えない。 今、委員長が「田主丸だけが費用を使いすぎる」と言われた。平等に費用を使うなら西鉄バスに市は年間どれだけ補助を出しているのか。バス路線維持に。バスが通っているところ、通っていないところ、田主丸の中では、差がとてもある。私はそれとも言いたい。税金を投資するなら、有線放送だけではなく、私は、バスもあると思う。今は買い物難民という人がいっぱいいる。それで、バスは通らない。ただ、路線確保のために市が補助している路線もいっぱいある。そこも私は考えて欲しいと思う。田主丸だけが、これで良すぎるというのなら。だからといって、これをどうしてもやっていこうというのではない。このアンケートを見たら言えないが、何か方法は無いかと思う。
委員長	例えば、3番と4番。どういうことが想定されるのか。例えば、今、自治会が自治会だけの放送をしているが、あれは、公民館にアンプがあって、そのエリアでつながっている。そこだけ残すことは可能か？
事務局	自治会単位で残すことは可能。希望する自治会だけ残すことは可能である。

	委員①	水縄校区で言うと、森部と石垣と切れば、森部だけ聞こえるということか。
	事務局	はい。森部が必要で、石垣は不要ということであれば、森部は残す、石垣は撤去するということは可能である。
	委員①	アンプを替えたばかりのところはいい。
	事務局	今、公民館にあるアンプは総合支所からの放送を受けて、各家庭に流すという中継器の役割があり、また、防災行政無線を受信して有線放送で各家庭に流すというような特別な機械になっているので、特注品である。自治会だけで運営をしていくとなってもそのまま使えるが、もし壊れた時などは、特注品の必要はないので、現在のアンプより安く購入できると聞いている。
	委員長	有線なので、線はそのまま使えるのか。
	事務局	線はそのまま使える。
	委員長	アンプが壊れたり、ケーブルが切れたりした場合のメンテナンスは自治会でやってくれということか。
	事務局	そういうことになる。
	委員①	ケーブルがあちこち痛んでいる。植木が大きくなって、ケーブルを擦って傷んでいる所が多い。方向性が決まれば、校区なり自治会なりに伝えておかないといけない。今のアンプが使えなくなった場合は、替えるのにどれくらいかかるのか。
	事務局	今のアンプであれば、特注品なので 30～40 万円かかるが、自治会内だけの放送であれば 10 万から 20 万円位で買えるようである。
	委員①	それ位？ それなら、線の張替えの方が高くつくと思う。アンプだけなら、1 回替えておけば、何年かもつと思う。
	委員長	今の 1,400 万円弱の維持管理費の中で、鋼管柱にまだ替えているのか。
	事務局	まだ、替えている。
	委員長	それは、まだ、だいぶ残っているのか。
	事務局	木柱は全体で 800 本程度残っている。
	委員長	全体で何本あった？ 鋼管柱に替えていないところは、地域的な偏りはあるのか？ 全く鋼管柱に替えていない地域はあるのか？
	事務局	全く鋼管柱に替えていない地域は無い。木柱から鋼管柱に替える事業の中で、もう少しもつだろうという木柱だけ残していたのが、昨年度末時点で 877 本あり、現在は維持管理をしていく中で、腐れていることが分かった場合に、鋼管柱に替えているような状態である。
	委員長	自治会のエリアの中に、まだ何本かは木柱があるということによいか。それは、将来的に自治会が継続する場合には、その自治会がそれも替えなさいということか。
	事務局	そういうことになる。それと別に、道路拡張などの時に有線柱が邪魔になるので移動させてくださいという場合もあるし、九電柱や NTT 柱に共架しているものがあるので、例えば九電柱を移動するとなれば、こちらの費用で有線も一緒に張りなおすというような経費も出てくる。

	委員長	仮に、今、委員①と言われるように、ケーブルが植木の成長と共に邪魔になるので、どこかに張替えようとする、その張替えも当然自治会でということになるのか。
	事務局	そういうことになる。
	委員①	植木を切った方が早い。
	事務局	移行するのに、どれ位お金をかけるかということについては、議論の余地はあると思う。いきなり、自治会で全部というやり方もあるけれども、それが負担ということであれば、例えば、一定の年数は少しずつ更新して、最終的に渡すなど、今後協議させてもらわないといけないことだと思う。
	委員①	行き着くところを、最初に言っておこうと思う。現在のアンプなら 30 万～40 万円で替えないといけない。自治会放送だけなら 10 万円か 20 万円位でできる。最初にそれを言っておかないと。
	事務局	そういうことであるならば、具体的な金額については、きちんとした形で出さないといけない。いざ頼んだら、全然違う金額であったとなると困るので、そのあたりは少しデータを揃えたいと思う。
	委員①	だから、2 番でいって、これ位で終了すると。後は自治会かどうかはもう各自治会で検討しないといけない。ということを、言っておかないといけない。
	事務局	1 番になると、突然終わってしまう。1 番はちょっと悲惨な状況。 例えば、2 番と 3 番のミックス。一定時期を決めておいて、それに向かって準備をする。ただ、3 番は自治会なのか校区なのか、それはその人達で議論をさせていただいて、自己判断してもらう。そうした場合に、だいたい費用はこれくらいかかるという額を、事務局に準備してもらう。そこまで負担してやますか、やりませんかということを自治会もしくは校区振興会などで諮ってもらう。 とにかく、永久的なものではないということを、まず理解してもらわないといけない。
	委員①	こういう結果が出たと言うことは、若い年代層もいるし、勤めに出ているところは聞かないということだろう。 ただ、維持管理費が増えていっているということだけは事実。このまま、延々と続けられない。 だから今後の運営のあり方としては、2 番で続けてもらって、最終的にはこうなると、その最終的なところを最初に言っておかないと、本当に止まった時に皆が納得しない。
	事務局	どうですか、J A さん。行政の次に使っているのです。
	委員①	J A が運営してもらうのが一番いい。
	委員②	そんな余力は無いと思う。
	委員①	J A ならあるのでは。 消防は、防災無線が使えるのか？ 近頃、放送は全然聞かないが。

委員③	放送はできる。火災時の放送は、マンパワーの問題があり現在できていない。全員出動体制をとっているので、放送ができない。火災のサイレンだけはうちが流して、戸締りして、全部出て行くような形をとっている。 それと、私も、いきなり3番、4番というような形ではなくて、例えば2番である程度期間を決めておいて、その間に3番、4番のような方策をさぐる方が良いと思う。 もうひとつ、今、防災行政無線の話が出たが、これも何年か後には恐らく、更新しないとアナログでは使えなくなる。この防災行政無線と有線放送が今はつながっている状況なので、両方一緒に見ていくような目も必要ではないかと思う。 それと、アンプの件も、これは、よく下調べをしておかないと、停電時に使えるのかとか、非常電源が有るのか無いのか、色んな問題が出てくると思うので、さっき支所長がおっしゃったように、よくデータを揃えて説明をする必要があると思う。
委員①	僕らは、素人なのでその辺りはよく分からない。教えてもらわないと。
委員④	2番の一定の時期というのは、決められるのか。
事務局	方法論として、うちの方から提案させたのが、1番から4番までということ。これ以外にも委員からご提案があらうかと思う。もし、本日決まれば今後はその方向で運営委員会の方で進めさせていただきたいと考えているが、まだ、新たな提案が出てくる可能性もあるので、今後の運営委員会である程度の方向性を決めていきたいと思っている。今日、2番の期間を決めるということではない。
委員①	ただ、1番は無いと思う。だから、必然的に2番か3番かだと思う。他団体、農協がしてもらえらるなら、4番が一番いいと思うが。
委員長	委員さん方も、各団体の代表として見えてあるので、皆さんの意見を聞いていただき、次回の運営委員会でその意見を出してもらい、それを基に話をしていきたい。 その間に事務局も色んなシュミレーションができるなら、準備をして欲しい。
委員①	よっぽど、覚悟して説明しないと、「絶対これはいる」という人達がいる。 だけど、このアンケート結果を見ると、そんなにも言えなくなってくる。まだ90%越して、「必要だ、まだ聞いている」というならだが、減っている方なので。 具体的な説明はできなくても、2番と3番ぐらいで、今後、委員長が言われるようにまとめて報告しないといけない。言いにくいと言わないといけない。
委員長	今日は、こういった形で今後のあり方について出されているので、今日結論を出すということは無理だが、持ち帰りいただきたい。そして、事務局の方も、各校区振興会の会長さん方に、説明していただきたい。 ということで、次回まで持ち越しということよろしいか？
委員①	持ち越しでよいが、この話は、振興会の役員に話してもいいのか？ 伏せておかないといけないのか。

	事務局	今後のスケジュールも含めて説明させていただくが、今日お見えになった委員さん方には、各団体での協議をお願いしたいと思う。事務局としては、来月の田主丸地域校区まちづくり連絡会議の中でも今日あったことを報告させていただこうと思う。是非、委員さんの各団体の方でもお話をしていただきたいと思う。
	委員長	今後については、以上でよろしいか。協議事項については、先ほど皆さんにお知らせしたように、次回の検討事項とさせていただく。
4 その他	事務局	今回の議事録については、後日、事務局にて作成したものを、委員の皆様全員に送付させていただき、確認後、委員長、議事録署名人のお二人に議事録署名をいただく。 また、次回の有線放送運営員会については、来年度に入ってからを考えているが、委員の交代もあるので、改めて連絡させていただく。
5 閉会		閉会